

第 1 5 章

財 政

## 第 15 章 財 政

### 大阪府の財政

平成 23 年度の普通会計決算額は、歳入 2 兆 8472 億円、歳出 2 兆 8203 億円と前年度に比べて、歳入 22.7% 減、歳出 22.6% 減となっている。

決算の収支状況をみると、歳入から歳出を差し引いた歳入歳出差引額(形式収支)は、269 億円の黒字で、事業の繰越などにより翌年度に繰り越すべき財源 145 億円を差し引いた実質収支は 124 億円の黒字となった。また、23 年度の実質収支から 22 年度の実質収支を差し引いた単年度収支は 150 億円の赤字となった。

財政構造の弾力性を判断する指標とされる経常収支比率は 97.0% で、前年度に比べ 5.7 ポイント増加している。

#### 歳入

歳入のうち最も大きなウエイトを占める府税収入の決算額は、9702 億円で全歳入に占める割合は 34.1% となっている。

府債の決算額は 3882 億円で前年度に比べて 4.2% の減となっている。これは、地域整備事業会計の廃止に伴い第三セクター等改革推進債を新たに発行したが、地方交付税の代替である臨時財政対策債が減少したことにより、全体として減となっている。

#### 歳出

歳出決算額を目的別にみると、最も大きなウエイトを占めているのは教育費(構成比 23.3%)で以下、商工費(同 20.0%)、民生費(同 15.3%)の順となっている。対前年度増加率で比較すると、総務費が最も減少しており、そのうち総務管理費が 95.0% 減少しており、最も減少している。

### 市町村の財政

平成 23 年度の府内市町村普通会計決算額は、歳入 3 兆 7692 億円、歳出 3 兆 7413 億円と前年度に比べて、歳入は 0.4% 増加、歳出も 0.4% 増加している。

決算の収支状況をみると、形式収支では 280 億円の黒字であり、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は 186 億円の黒字となっている。

また、市町村ごとの実質収支では、黒字団体は 42 団体(32 市 10 町村)、赤字団体は 1 団体(1 市)となっている。

#### 歳入

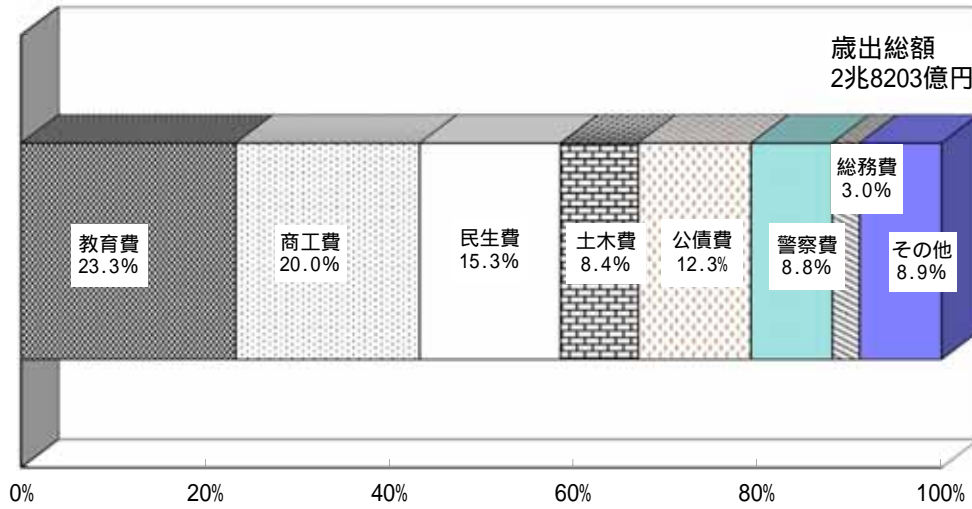
歳入を科目別にみると、地方税は、前年度に比べ 0.7%(107 億円)増であり、歳入総額に占める割合は、40.6% となった。

また、その他の歳入で主なものを科目別に見てみると、地方交付税は、前年度比 5.4% 増、国庫支出金同 1.7% 増、地方債同 1.8% 増となっている。

#### 歳出

歳出を目的別にみると、民生費 1 兆 5936 億円(構成比 42.6%)、公債費 4445 億円(同 11.9%)、土木費 4284 億円(同 11.4%)、総務費 3300 億円(同 8.8%)、教育費 3247 億円(同 8.7%)、衛生費 2956 億円(同 7.9%)の順となっている。これらを前年度と比べると、民生費 4.1% 増、公債費 3.3% 増、土木費 6.9% 減、総務費 9.5% 減、教育費 3.0% 減、衛生費 5.9% 増となっている。

普通会計歳出決算額の構成（平成23年度）



普通会計歳入決算額内訳（平成23年度）

